

<案>

環境学習部活・創部に向けて

何が課題なのか

個々の環境学習の取り組みに…

- 「ねじれ」が発生している
- しかも「まるごと」でない
 - 行政をはじめ、様々な環境学習の取り組みが行われているが、単発的、縦割りの的で、一人の人間を育てていくための総合的、長期的な視点が欠如している
 - 自分以外の取り組みを批判する傾向がある

いったいどんな人間を創ろうとしているの？

誰が、誰を対象に

- 部活プロジェクトの部員たちが、
- 環境学習を提供しようとしている人たち(施設、行政の各部局課)を対象に、

何を、どうやって

- 様々な施設、様々な主体・部局を横断的につなぎ、
- 横断的な環境学習プログラムを提供することなどを通じて、
- 「点」を「線」に、そして「面」に、さらに時間軸の方向へと立体的に広げることにより、
- 「ねじれのない」「まるごと」の滋賀の環境学習環境を創り上げていく

例えば・・・初年度の活動

- 様々な施設、主体(部局)の事業を知り、
- それらをそれぞれの「枠」を越えた視点で眺めて、
- いくつかの事業を横断的につなぐ事業を提案し、
- 次年度のモデル的な取り組みにつなぐ
予算ゼロ 各主体の費用対効果アップ
「ねじれ」解消 みんな(^ ^)v

どんな予算でいつまでに

- 部活の3年間は、NPO活動促進室で取りまとめた予算で
 - 必ずしも大きな額は必要ない
 - 関係課の予算を活用する、つなぐという視点
- 3年後には、プロジェクトではない、組織的な対応につなげていく 部活の使命